

20年10月世界市場サマリー

株式会社LOGOSキャピタルパートナーズ
代表 伊藤 武

10月末主要指標（前月末比）

ダウ工業平均 26,501.60 (-4.6%)

S & P 500指数 3,269.96 (-2.8%)

NASDAQ 指数 10,911.59 (-2.3%)

日経平均 22,977.13(-0.1%)

米ドル対円 104.47(105.67)

ポンド対円 135.48 (135.94)

ユーロ対円 122.21 (124.01)

金 1,878.80 (-0.7%)

いよいよ米国大統領選は11月3日の2日後に行われます。10月の米国市場は選挙1か月前の波乱要因に直面し、大きな変動を見せました。第3四半期決算は概ね予想の範疇で、大手IT企業は増益基調を堅持し、それに反し伝統的企業は回復が見られず、エネルギー関係は下げを継続しています。金融大手はまちまちの状況でした。企業収益動向よりも市場は大統領選を注視し、トランプ大統領はコロナに罹患し大きな打撃を被ったにも関わらず、医師団の努力の甲斐もあり急回復後は目を見張る選挙運動を展開しています。熱狂的なトランプ支持者の応援はマスコミをも賑わし、それに反しバイデン陣営の駐車場集会は支持表示をクラクションで鳴らすの留まり、見劣りは明らかです。他方コロナ感染はヨーロッパとアメリカで急増し、立ち直りつつある世界経済活動は再びロックダウン等の措置より先行きが懸念される事態に舞い戻っています。後講釈になりますが、相場の軌跡は10月の動静を如実に辿っています。トランプ大統領コロナ罹患はバイデン候補を有利にし、それと合わせて第三四半期決算と景気回復期待から月前半市場は堅調に推移した後急落に転じました。S&P500及びNASDAQ指数に比較し、ニューヨークダウ平均は月間4.6%と大きな下落を演じました。しかし、いずれの指数も月半ばの高値から同等の8%程度の下落となっています。その一つの要因はコロナの猛威が復活し、これから冬季を控え懸念が高まっていることです。もう一つは米大統領選の行方に対しトランプ候補の健闘が目覚ましく、バイデン候補の優勢にやや陰りが見えてきたことで

す。トランプ大統領の経済政策に対する一般評価は高く、それに反しコロナ後のトランプ大統領の対応、即ち無策は、大統領選の致命傷になると観測しています。今だに隠れトランプの巻き返しを予測するアナリストは多く、予断を許しません。熱狂的なトランプ集会で支援者の大半はマスクもせず密集の中トランプ候補期待通りの展開となっています。しかし、アメリカの感染者数と死者数は世界で突出しており、前回大統領選挙で支持を得た高学歴女性及び財界の離反は顕著となっています。今後相場の最大の波乱要因は選挙結果に対し、トランプ大統領が異議を講じ大混乱を巻き起こす懸念です。2016年の戦況でトランプ候補は多くの激戦州で薄氷の僅差で勝利を獲得しました。それらはほぼ10州程度ですが、今回も激戦は避けられません。現在も不透明なフロリダ、ペンシルベニア、ミシガン等は人口も多く、個人投票数の結果に基づき票を投じる選挙人数がどちらに靡くかは判明していません。バイデン候補が圧勝すれば別ですが、激戦州の多くで投票が拮抗し、トランプ大統領が勝利宣言や結果を認めないような事態になればアメリカは危機に陥る可能性を残しています。

市場予測に関しては、いずれの勝者が有利であるかの観測や分析がなされています。トランプ大統領が再選されれば、経済政策の対しての評価は高く、最高裁判所を保守派判事で固め、トランプ下共和党の結束は更に強固となるでしょう。株式市場を最優先するトランプ大統領政権はそれなりの評価を受けることとなるでしょう。と同時に対民主党との分断は益々悪化し、アメリカ社会及び国際社会の流れに対しトランプ大統領は大きな亀裂を投じました。4年間の亀裂に対し修復期待はバイデン候補の勝利です。政策の展開等に対して株式市場はすでに多く織り込み済みと考えるべきでしょう。結局当面の市場は選挙直後のアメリカ政治混乱の行方と、コロナの展開と世界経済の動静がカギとなるでしょう。

本資料は、株式会社LOGOSキャピタルパートナーズ（以下「当社」という）が情報の提供のみを目的として作成したものです。当社が提供する情報は十分信頼に足るものと信じておりますが、それを保証するものではありません。ここに掲げる過去の実績は必ずしも将来の動向を示唆するものでなく、実際の収益を確約するものではありません。記載された見解等の内容は全て作成時点でのものであり、今後予告なく変更されることがあります。この資料及びここに掲載された情報等の権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部若しくは一部を複製し、又その他の方法で配布することはご遠慮ください。